

青海省チベット仏教寺院の現状についてⅢ

——玉樹チベット族自治州を中心にして——

則 武 海 源

はじめに

青海省チベット仏教寺院については、大崎学報第一四九号において西寧市・東海地区を中心に先述し、第一五一号において黄南チベット族自治州・果洛チベット族自治州・河南モンゴル族自治州を中心にその現状を提示した。本号においては、チベット仏教寺院が多く現存する玉樹族チベット族自治州を中心に、青海省の内部資料をもとに調査資料と照合し、この地域のチベット仏教寺院の現状等を考察するものである。

本編は、一四九号・一五一号と併せて調査検討資料として編集したもので、一九五八年（チベット解放以前）に存在した寺院を基準に、寺院名称、地域、沿革、宗派をできる限り列举した。本編での提示により、青海省全体におけるチベット仏教寺院の所在地域・寺院の特徴・現存数等がある程度網羅できたのではないかと考える。

先述の各号でも記しておいたが、青海省のチベット仏教寺院は、解放軍の侵攻と文化大革命の二度にわたり大きな被害を被った。現存・修復・回復という形態をとってはいるが、一九五八年前のように完全に復興したものではなく、

青海省チベット仏教寺院の現状についてⅢ

オリンピック効果による経済発展が著しい中国において、青海省における文化復興との格差がますます拡がっているように見受けられる。

本シリーズが示したとおり、二十世紀から二十一世紀に移行したこの時代に、相当数のチベット仏教寺院が現存していた記録になればと考えるものである。

玉樹チベット族自治州の寺院の現状

《玉樹県》

玉樹県は歴史上多くの寺院や僧がおり、宗派が複雑に混在する地域である。一九五八年の調査時点では各宗派のチベット仏教寺院が共存し、四五寺院にのぼっている。

《結古鎮》

結古寺 明の洪武三十一年（一三九八）、サキヤ寺の高僧であった当欽哇・嘉昂喜饒堅贊（一三七六）により扎武頭人に支持が下され正式に建立された。玉樹地区にあるサキヤ派大寺の一つ。

当卡寺 巴洒当丁により宋代に初建される。カルマ・カギユ派。

禅古寺 ほぼ宋代に建立される。カルマ・カギユ派。

扎西格寺 元代の初建。現在の結古寺がある木牻梅瑪山上にあったが明の洪武年間に移築。当卡寺所属の尼寺。カルマ・カギユ派。

《巴塘郷》

辺欽寺 ほぼ元代に初建され、扎西格寺付近にあった。明の洪武年間、第四世辺欽・格来嘉措により現在の地に移築。もとは扎武・布慶・拉達の三部落の寺院。カルマ・カギユ派。

仁欽楞寺 文保仁欽堅贊により元代初に建立される。サキヤ寺の子寺。サキヤ派。

当頭寺 もとはチャムド（昌都）地区の寺院。サキヤ寺の属寺。サキヤ派。

相古寺 当初、中洲に建立されたと伝えられ、文成公主入蔵時、塔が建立されたとされている。カルマ・カギユ派。

卓瑪邦雜寺 デイゲン・カギユ派の始祖仁欽貝により第一の堂が建立されたとされる。宋代、十二世紀後期の建立。デイゲン・カギユ派。

大日如来仏堂 七世紀中葉、文成公主入蔵時、この地を通過した際、工匠に命じて丹瑪岩に大日如来像ならびに八大近侍弟子像を彫刻させたといわれる。唐の中宗景龍四年（七一〇）、これを覆う堂が修復された。禪古寺の管轄寺院。デイゲン・カギユ派。

〈上拉秀郷〉

裁空改寺 ラサ西南のドウクパ寺の属寺。デククパ・カギユ派の尼寺。

安云寺 もとは拉秀部落のデククパ・カギユ派の寺院であったが、後にデイゲン・カギユ派に改宗した。

乃慶改寺 ニンマ派の尼寺。佐欽寺の系統に属する。

周巴寺 ほぼ十三世紀初めに建立。ドウクパ・カギユ派。

察柔寺 ほぼ十三世紀初めに建立。当初はドウクパ・カギユ派の寺院であったが、後にサキヤ派に改宗。

〈下拉秀郷〉

龍喜寺 伝えるところによれば吐蕃時代はボン教の帳房寺院であった。宋代に入りチャムド（昌都）の名僧雄蚌によりデイグン・カギユ派に改宗し、十八世紀中葉、七世ダライ・ラマの時代にゲルク派に改宗した。

猊合寺 龍喜寺所轄のゲルク派尼寺。龍喜寺活仏・康覚洛遜図丹嘉措により十八世紀中葉に建立された。秋林多多寺 秋林多傑拔希によって元代に建立される。サキヤ派。

当卡乃多寺 強梅熱嘎阿涅により清の康熙年間に建立される。カルマ・カギユ派の一分派（乃多）寺院。代巴寺 カルマ・カギユ派の一分派（乃多）寺院。

〈仲達郷〉

唐隆寺 熱迦滾噶益希により元代に。チベットの俄日寺の属寺。サキヤ派。

桑主寺 サキヤ派寺院。

阿七寺 四川・噶陀寺の僧、阿尼文頂により清の乾隆年間に建立。ニンマ派。

讓娘寺 デイグン・カギユ派の始祖・仁欽貝の弟子の康覚多傑寧保によりほぼ宋代に建立されたが、明の万暦年間にゲルク派に改宗。

嘎拉寺 デイグン・カギユ派の始祖・仁欽貝の弟子の康覚多傑寧保により十三世紀中葉に建立されたが、十五世紀初にゲルク派に改宗。

崗拉寺 ゲルク派寺院。

邦群寺 当初、ボン教寺院であったが、ほぼ明代末にはゲルク派に改宗。

宗郭寺 所属宗派等未確定。

〈小蘇莽郷〉

拉喔寺 カルマ・カギユ派黒帽派第五世活仏・得銀協巴の弟子・帳瑪賽洛舟仁欽より十五世紀初めに建立される。

巴塘郷・辺欽寺の属寺。カルマ・カギユ派。

多貢寺 熱穹・代瑪洛舟により建立。カルマ・カギユ派の一分派（蘇莽）寺院。

東從寺 結古寺の属寺。サキヤ派。

蘇莽徳子提寺 帳瑪賽洛舟仁欽の弟子の仲扎喔・滾噶賢贊により建立。カルマ・カギユ派の一分派（蘇莽）寺院。

熱艾寺 ドウクパ・カギユ派寺院。

〈結隆郷〉

結松寺 一九五七年、安冲郷・邦郭寺より分建。ゲルク派。

〈安冲郷〉

邦郭寺 当初、ボン教寺院であったと伝えられるが、後にデイゲン・カギユ派に改宗し、さらに明代にゲルク派に

改宗した。当寺は転生活仏制を実行していない。

龍青寺 結古寺の属寺。サキヤ派。

達傑寺 サキヤ派寺院。

布讓薩迦寺 サキヤ派寺院。

来葉拉則寺 カルマ・カギユ派。

布讓拉康 カルマ・カギユ派の仏堂。

乃松寺 カルマ・カギユ派。

阿帳寺 所属宗派等未確定。

《襄謙県》

襄謙県は青海省の中でも寺院数は最多で、全宗派が分布している。一九五八年には八十寺院が確認されているが、現存は七十七寺院である。

《香達郷》

巴米寺 文慶嘉宝により十七世紀に建立される。デイゲン・カギユ派。

堪郭寺 デイゲン・カギユ派寺院。

買慶改寺 古くは根蚌寺の僧の静修の場であった。今世紀に入り松卓徳により正式に寺院が建立されデイゲン・カギユ派の尼寺となった。

雑毛寺 十二世紀末、巴絨カギユ派の始祖・達瑪旺秋の弟子の直希熱巴により襄謙千戸府に直哇阿洛の支持のもと初建された。玉樹地域で最も早い巴絨カギユ派の寺院である。

讓直寺 直希熱巴の弟子・巴若多傑により宋代に建立。巴絨カギユ派の寺院。

代東寺 傑宗更都楞巴（一八九八〜一九四六）により一九二三年に建立。ドウクパ・カギユ派とニンマ派の僧が混合する寺院である。ニンマ（寧瑪）周とも呼ばれる。

覺吾寺 ドウクパ・カギユ派寺院。

吉俄寺 ドウクパ・カギユ派寺院。

郭欠寺 当初は乃多カギユ派であったが、後にカルマ・カギユ派紅帽派に改宗する。チベット羊八井寺をなす寺院である。

当洒寺 サキヤ派寺院。

念雅葉寺 サキヤ派寺院。現在消滅。

洒宗寺 ニンマ派寺院。現在未回復。

根蚌寺 直希熱巴の弟子・熱嘎崗巴（一一三八～一二〇六）により十三世紀初め南宋慶元あるいは嘉泰年間に建立される。巴絨カギユ派の古寺。一六三〇年代、襄謙千戸府に最も早くできた政教合一の寺院。現在未回復。

〈札扎郷〉

七也寺 撒東肖噶により十二世紀末に建立される。襄謙千戸を直接管轄するデイゲン・カギユ派寺院。

瑪塔改寺 デイゲン・カギユ派の尼寺。

嘎日寺 嘎日慶第七世嘎日丹増彭措によりほぼ宋・元時代に建立された。ドウクパ・カギユ派に属し、もとは堪郭寺、改貢寺、日朝寺、龍康寺等を管轄下に置き、嘉瑪の活動の拠点であった。

采久寺 第五世池秀活仏・巴丹晋美才旺赤列の母の拉毛班蔵（一七九四～一八五八）により経堂が建立され発展した。ドウクパ・カギユ派に属し、もとは襄謙千戸府家の寺院で、管轄下に池秀寺、哇龍寺、海日寺、吉俄寺、擦伊寺、楞主寺、邦襄寺、等卡寺、佐青寺、加宗寺、邦色寺等がある。

改貢寺 嘎日寺所轄のドウクパ・カギユ派の尼寺。

貢下寺 カルマ・カギユ派黒帽派第七世活仏・却扎嘉措の弟子の塔哇賢贊と桑傑扎巴により十五世紀末に建立され

た。主要な子寺は四川省の徳格（デルゲ）の傑乃寺。カルマ・カギユ派。

乃多寺 偈瑪強美の弟子・乃多噶瑪洛松が建立する。乃多カギユ派。

〈吉曲郷〉

桑買寺 ドウクパ・カギユ派寺院。

日朝寺 ドウクパ・カギユ派の静房。

酒郭改寺 桑買寺所轄のドウクパ・カギユ派の尼寺。

秋普寺 襄謙千戸の支持のもとドウクパ・カギユ派の僧・秋普が明末清初に建立した。もとは群保百戸を管轄した。

楞主寺 ドウクパ・カギユ派寺院。

擦伊寺 ドウクパ・カギユ派寺院。

池秀寺 池秀一世・赤列嘉措が建立した。ドウクパ・カギユ派。

葉文寺 カルマ・カギユ派の僧尼混合寺院。

改吾寺 葉文寺所轄のカルマ・カギユ派寺院。

賽佐強寺 当初は南宋のほぼ紹熙元年（一一九〇）に建立され、歴史上、葉バカギユ派をたて、達那寺を所属した。

二十世紀初頭カルマ・カギユ派黒帽派に改宗した。

宗達寺 サキヤ派の高僧・覚讓蒂什察（現在の雜多県蘇魯郷の人）が十三世紀末に建立した。玉樹南部地区で最も

主要なサキャ派寺院。

者牙襄寺 群保百戸を所轄し、ニンマ派の僧尼混合寺院。

当卡寺 采久寺所轄であるがニンマ派寺院。采久寺の措尼瑪嘉帳巴活仏により一八五八年頃に建立された。

熱牙寺 采久寺の措尼瑪嘉帳巴活仏の弟子の改加・拉毛達傑により建立される。ただしニンマ派に属する。

邦襄寺 ニンマ派寺院。嘉瑪麻尼など嘉瑪の活動地点であり、伝承では唐東傑波（一三八五〜一五〇九）により建

立された。現在、ドウクパ・カギユ派の日朝寺とサキャ派の宗達寺の僧の非固定の寺院として活動している。

〈吉尼賽郷〉

代毛寺 叢洒仁青龍主（襄謙千戸府家の出身）により建立される。巴絨・カギユ派の寺院。

傑熱雜宗郭寺 拉洽寺所轄の巴絨・カギユ派の古寺。

拉洽寺 巴絨・カギユ派の古寺。

瓦佐求林寺 巴絨・カギユ派の寺院。

拉隆寺 嘎瑪丹迥により建立。巴絨・カギユ派の寺院。

拉朗寺 巴絨・カギユ派の寺院。

多察日寺 当初はニンマ派であったがその後ドウクパ・カギユ派に改宗し、現在は采久寺の属寺となっている。

蒙卓寺 一九四〇年代に建立されたカルマ・カギユ派の寺院。

達那寺 当初はボン教寺院であったが、宋孝宗淳熙十五年（一一八八）帕摩竹巴の弟子の桑結葉巴・伊西則が改建

し、葉巴・カギユ派の寺院となる。

求嘎寺 宗達寺所轄のサキヤ派寺院。

改加寺 青海省最大のニンマ派の尼寺。改加・侖央嘉措により清・光緒十九年（一八九三）に建立された。
当巴寺 ニンマ派の寺院。

〈東垣郷〉

叢洒寺 巴絨・カギユ派の寺院。

当云寺 カルマ・カギユ派の寺院。

東襄拉慶寺 十四世紀に建立され、当初は巴絨・カギユ派であった。後にカルマ・カギユ派に改宗した。

東襄拉穹寺 東襄拉慶寺の分建。カルマ・カギユ派に属す。

公保寺 カルマ・カギユ派の寺院。

要華日寺 当初は巴絨・カギユ派寺院の一つであったが、後にサキヤ派に改宗。

熱拉寺 サキヤ派の寺院。

邦賽寺 ニンマ派の寺院。

徳欽改寺 一九四〇年代にニンマ派の尼寺として建立された。

〈着曉郷〉

送牙寺 カルマ・カギユ派の活仏・恩東丁巴襄傑により清の道光年間に建立された。現在寺院内に仏教修学の学堂が設置されている。

噶瑪達傑寺 カルマ・カギユ派黒帽派の寺院。

乃艾寺 カルマ・カギユ派の尼寺。

然覚寺 当初はシャンバ（香巴）・カギユ派の寺院であったが、清の乾隆年間（一七四五年頃）、然覚・噶瑪慶貝により乃多・カギユ派に改宗した。

華日拉慶寺 巴絨・カギユ派の始祖・達瑪旺秋の弟子の直希熱巴により十三世紀の初めに建立された。元末に巴絨・カギユ派からサキヤ派に改宗した。

華日拉穹寺 華日拉慶寺より分建されたサキヤ派の寺院。

徳加寺 当初は巴絨・カギユ派であったが、清代にゲルク派に改宗した。

〈覚拉郷〉

肖甫寺 巴絨・カギユ派の寺院。

孔来寺 覚讓寺所属の巴絨・カギユ派の尼寺。ただし乃多・カギユ派の教典を読んでいる。

買土改寺 覚讓寺所属の巴絨・カギユ派寺院。

扎西寺 覚讓寺所轄の巴絨・カギユ派寺院。

覚讓寺 隆熱帳巴堅贊により建立され、数度移築された。巴絨・カギユ派寺院。この地域の政教合一寺院。

尼亞寺 当初は巴絨・カギユ派の寺院であったが、サキヤ派に改宗した。

〈毛庄郷〉

蘇莽襄傑則寺 カルマ・カギユ派の一分派・蘇莽・カギユ派の寺院。蘇莽・カギユ派の始祖・帳瑪賽・羅舟仁欽に

より明の永樂年間に建立された。当地域の政教合一寺院。

嘎丁寺 明の嘉靖十四年（一五三八）に建立され、ニンマ派に属した。清の順治九年（一六五二）に五世ダライ・ラマ・阿旺羅桑嘉措によりゲルク派に改宗。

〈娘拉郷〉

郭乃寺 蘇莽・カギユ派の寺院であったが現在未回復。

直索寺 蘇莽・カギユ派の寺院。

〈尕涌郷〉

嘎拉西寺 デイグン・カギユ派寺院。

海日寺 徳欽多傑により清の光緒六年（一八八〇）に建立。ドウクパ・カギユ派に属し、歴史上群保百戸を管轄した。

哇龍寺 嘉文徳欽多傑により清末に建立され、采久寺所属のドウクパ・カギユ派寺院。

〈称多県〉

一九五八年当時、二十七の各派寺院が確認されている。

〈称文郷〉

尕蔵寺 パスパの弟子の阿尼当巴・衮噶扎巴により南宋末に建立された。称多県最大のサキヤ派寺院。

先宗寺 噶瑪昂当活仏により清の雍正五年（一七二七）に建立される。現在堆壘徳慶県・粗浦寺所属のカルマ・カギユ派寺院。

康覚寺 宋代に建立され、伝承ではカーダム派に属したが、十二世紀中葉にデイグン・カギユ派に改宗した。

東程寺 当地の僧・智文措吉多傑遵照によりパスパの意向を受け元の初めに建立された。チベット自治区俄日寺所属のサキヤ派の大寺院。

貢酒寺 サキヤ寺所属のサキヤ派寺院。

洒嘉寺 一九四九年に建立のサキヤ派寺院。現在消滅。

〈拉布郷〉

拉布寺 当初はサキヤ派の小寺として建立。明の永楽十六年（一四一九）に、ツォンカパの弟子の代瑪堪欽元登巴によりゲルク派の大寺として改建された。現在十八の末寺を有する。

依哇寺 一九五〇年代初めに拉布寺活仏・索南則莫により建立された、ゲルク派の尼寺。

邦布寺 デイグン・カギユ派の僧・帳代巴倡により建立された。デイグン・カギユ派に所属したが、十五世紀末に拉布寺の始祖・代瑪堪欽元登巴によりゲルク派に改宗した。拉布寺の属寺。

土登寺 元代に建立される。サキヤ派の寺院。

迭達阿七寺 ニンマ派寺院。

〈歇武郷〉

尼宗寺 明の万曆十三年（一五八〇）当寺の第一世赤欽活仏・昂従格却昂嘉により建立される。デイグン・カギユ派の寺院。

賽達寺 またの名を下賽巴寺という。当初はボン教寺院であったが、南宋咸淳五年（一二六九）、パスパによって

サキヤ派に改宗した。サキヤ寺ならびに俄日寺を本寺とし、末寺に賽甫寺がある。

賽甫寺 またの名を上賽巴寺という。当初はボン教寺院であったが、元の初め頃、パスパの弟子の阿尼仲巴によりサキヤ派に改宗した。

多干寺 当初は扎西熱登により建立されたニンマ派の小寺であったが、南宋咸淳五年（一二六九）、パスパが歇武郷に来て経を講説し、サキヤ派に改宗した。本寺はサキヤ寺。

巴干寺 元の初め頃建立され、当初はボン教寺院であったが、後にデイグン・カギユ派に改宗した。

格烏寺 明の成化年間に洛茸遜保により建立されたデイグン・カギユ派の寺院。本寺は周旺寺と鉄哇寺。

〈珍秦郷〉

群則寺 もともとカ納族のデイグン・カギユ派寺院。宋代に禅房が建立され、元代に寺院の形態を整えた。本寺は則覚梯哇寺と永日嘎松寺。

カ納寺 ニンマ派の帳房寺として早くから建立されたが、清の同治五年（一八六六）、拉布寺の活仏・傑熱多吉とデプン寺のラマ・却智江旺洛茸陳列によりゲルク派の寺院へ改宗した。拉布寺の属寺。

竹節寺 当初はニンマ派であったが、後にデイグン・カギユ派に改宗した。デイグン寺を本寺とし、本県の扎西寺、康覚寺、群則寺、尼宗寺、格烏寺等を管轄下に置く、政教合一寺院。

休馬寺 西康の僧・嘎哇により十九世紀初めに建立された、拉布寺所屬のゲルク派寺院。

〈清水河郷〉

永夏寺 四川省石渠県の佐欽寺第八世活仏・白瑪貢珠昂嘉により清の乾隆年間（一七四二頃）、建立された、デル

ゲの佐欽寺系列のニンマ派帳房寺院。

阿涅寺 当初は阿尼部落のニンマ派小寺であった。後に帳房寺となり、一九二四年に拉布寺活仏・旦傑が寺院を建立し、土房寺として建て替えた。

〈尕雜郷〉

角吾寺 一九五六年に建立されたニンマ派帳房寺院。

邦夏寺 当初はモンゴル族の寺院として発足した。サキヤ派の寺院。

〈扎雜郷〉

賽航寺 明の洪武三十年（一三九八）、四川省出身の僧・吉昂江扎巴により近隣の昂却桑底格派楞寺、公青寺と嘎頂拉葉則毛寺を併せて形成され、上下年措と白日多瑪三族共同によるゲルク派の大寺。本寺はセラ寺で、管轄下に玉樹県の邦公寺と曲麻菜県の夏日寺がある。

〈賽河郷〉

扎西寺 デイグン・カギユ派の寺院。

〈〈雜多県〉〉

一九五八年当時、全県には二四寺あったとされている。

〈阿多郷〉

斯日寺 明の隆慶二年（一五六八）、四川省デルゲ地区の斯日寺活仏・斯日洽が当地にあって、格吉部落の頭目の

支援のもと建立した、カルマ・カギユ派の寺院。

〈結雑郷〉

佐青寺 デルゲの佐欽寺の始祖・白瑪仁増（一六二五～一六九七）により、清の康熙二十三年（一六八四）に建立された。ニンマ派寺院。

乃多寺 当初は昂賽・甘周・買瑪三部族によって建立された乃多・カギユ派の寺院。

巴艾寺 当初は巴絨・カギユ派に属した寺院で、後に活仏・当巴桑傑により分建され、チベットの粗朴寺と四川省デルゲの八蚌寺を本寺とするカルマ・カギユ派に改宗した。

傑仲寺 清の道光五年（一八二五）に建立された、本来、巴麻族所属のカルマ・カギユ派寺院。

覚則改寺 カルマ・カギユ派の尼寺。

賽扎寺 カルマ・カギユ派の寺院。

〈昂賽郷〉

秋林寺 襄謙改江寺活仏・命央嘉措の弟子の改江嘎扎西嘉措により、清の乾隆年間に建立されたニンマ派寺院。本

寺はデルゲの白玉寺と襄謙改江寺。

白智寺 ニンマ派の寺院。

秋吉改寺 秋林寺活仏・次成熱傑により清末に建立されたニンマ派の尼寺。チベットの次崗寺、デルゲの白玉寺、本県の秋林寺を本寺とする。

多吉寺 もとはボン教寺院であったが、後にボン教とニンマ派教徒の合住する寺院となった。

〈吉多郷〉

雜龍寺 清の道光八年（一八二八）に建立されたデイグン・カギユ派の寺院。チベットのデイグン寺と本県の龍嘎寺を本寺とする。

龍嘎寺 当初は巴絨・カギユ派の寺院であったが、後にデイグン・カギユ派に改宗した。雜龍尼姑寺を管轄している。

更那寺 巴絨・カギユ派の始祖・達瑪旺秋の弟子と伝えられる多丁伊西迥尼（魯梅多傑の修徒・四川省同浮県の人）により、十三世紀に建立された巴絨・カギユ派の寺院。清の康熙十二年（一六七二）に重建され、カルマ・カギユ派に改宗した。

〈蘇魯郷〉

邦襄寺 直希熱巴の弟子の釈迦多傑により十三世紀に建立された。元は襄謙県の嘎毛寧同にあったが後に現在地に移転した巴絨・カギユ派の寺院。またの名を日哇買瑪寺とも言う。

日哇多瑪寺 増文保活仏の求めにより邦襄寺から分建した寺院。カルマ・カギユ派に属する。

日哇巴瑪寺 明の万暦年間頃、活仏・達傑嘉措により邦襄寺から分建した寺院。カルマ・カギユ派に属する。

〈扎青郷〉

扎西拉武寺 十五世紀末に建立され、当初はデイグン・カギユ派の寺院であったが、後にゲルク派に改宗した。

〈莫云郷〉

嘎洒寺 乃多・カギユ派の帳房寺。

〈且栄郷〉

当拉侖寺 ニンマ派帳巴支系の帳房寺。

哇龍寺 カルマ・カギユ派の帳房寺。

布瑪拉侖寺 デイゲン・カギユ派の帳房寺。

且栄代東寺 ニンマ派に属する。

《曲麻菜県》

一九三〇から四〇年代、曲麻菜県内には九つの遊牧部落が存在した。各部落は自己の寺院を建て、その多くはニンマ派に属している。その中では河拉麻寺が主要な寺院である。一九五八年の行政区画改革により、もとは優秀部落の夏日寺と覚東寺、上年措部落の巴干寺が曲麻菜県に組み込まれ、全県で十二の寺院である。現在全て現存している。

夏日寺 現在、巴干郷内にある。もとは優秀部落の寺院で、吉巴頂嘉措の求めにより明の正統十二年（一四四七）に建立された。ゲルク派に属する。

巴干寺 現在、巴干郷内にある。もとは上年措部落の寺院で、今は称多県の色航寺の属寺。ゲルク派に属する。

覚東寺 現在、東風郷内にある。もとは優秀部落の寺院で、また旧当寺・江龍寺・江讓寺ともいう。ゲルク派に属する。

河拉麻寺 現在、秋智郷内にある。一九三〇年代に建立された河拉麻部落の主要寺院。本県内の貝洒肖寺、布居寺、

噶陀寺、改巴肖寺、哈秀肖寺、多侖寺、熱侖寺、俄侖肖寺の八つの寺院を管轄下に置く。ニンマ派に属する。

貝洒肖寺 もとは貝洒部落のニンマ派の帳房寺院。

布居寺 もとは布居部落のニンマ派の帳房寺院。

噶陀寺 もとは尕托部落のニンマ派の小寺。四川省甘孜の噶陀寺を本寺とする。

改巴肖寺 もとは改巴部落のニンマ派の帳房寺院。

哈秀肖寺 もとは哈秀部落のニンマ派の帳房寺院。

多侖寺 もとは多侖部落のゲルク派とニンマ派の合住寺院。よってまたの名を格寧侖寺ともいう。

熱侖寺 もとは熱侖部落のニンマ派の小寺。

俄侖肖寺 もとは俄侖部落のニンマ派の帳房寺院。

《治多県》

本県には、ただ一寺院のみ、多采郷内に崗察寺が存在する。曲麻萊県の夏日寺と覺東寺にこの崗察寺を併せて夏覺崗松と呼ばれ、もとは優秀部落にあったゲルク派寺院である。

附

《青海省ボン（本）教寺院》

本編では青海省にあるボン教寺院も併せて提示しておく。

青海省チベット仏教寺院の現状についてⅢ

却毛寺 海南チベット族自治州貴徳県河西郷にあり、却毛活仏により建立される。清の乾隆年間には茸尕布羅桑図登格勒堅贊が統括し、拉莫徳千寺の属寺となる。

当車本教寺 貴徳県河西郷。

色尔加本教寺 貴徳県東溝郷。

尕賽寺 海南チベット族自治州共和県恰卜恰鎮の北にある尕賽村。清の嘉慶年間（一八〇七頃）に建立された。

東格爾寺 海南チベット族自治州共和県廿地郷。一九四二年に建立された。

木合沙下寺 黄南チベット族自治州同仁県曲庫郷。貴徳県の却毛寺の属寺。

多西寺 化隆県金源郷の多西村。

下什塘寺 化隆県金源郷の下什塘村。

王侖麻本教活動地点 循化県文都郷の王侖麻村。

王加本教活動地点 黄南チベット族自治州澤庫県の王加郷。

むすび

以上、玉樹チベット族自治州を中心に現状を考察した。寺院の中には小規模のものも含まれており、また一九五八年の資料にあるように現存はしているが、実態は何ら手が加えられていないものも多く含まれている。

チベット族の中でも青海省はアムド地方としてチベット仏教文化の主要なる部分を担ってきた地域である。しかし、

時代の変化とともにチベット仏教を取り巻く環境の変容も著しいものがあり、一四九号・一五一号と本号での青海省チベット仏教寺院の現状が悪化しないことを唯々願うものである。本編により青海省チベット仏教寺院の現状についてのシリーズを結ぶものとする。